

## 1. 単元名 「まちの様子」

## 2. 単元づくりのポイント

### (1) 教材化

本単元では、身近な地域の地形や土地利用、交通の広がりなどを基に、身近な地域の様子について理解するようにします。また本単元は、「自分たちの市」に重点を置いた効果的な指導を行うように計画することが求められているため、授業時数の配分などを工夫することが必要です。また、身近な地域を見学したり聞き取り調査をしたりして情報を集める際には、目的や着目する視点を明確にして効果的に行い、市全体を調べる際にその視点を生かすことが大切です。方位については、四方位と八方位を扱います。主な地図記号については、身近な地域の様子を地図に表したり、地図から市の様子を読み取ったりする際に、地域の実態を踏まえて必要なものを扱うようにします。

### (2) 学習過程

本単元では、身近な地域の位置、地形や土地利用、交通の広がりなどに着目して、例えば、身近な地域はどこに位置しているか、どのように広がっているか、どのように利用されているかなどの問いを設けて調べたり、場所ごとの様子を比較して違いを考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。実際の指導に当たっては、生活科での学習経験を生かし、小高い山や校舎の屋上など高いところから身近な地域の景観を展望したり、地理的に見て特徴のある場所や主な公共施設などを観察・調査したりする活動が考えられます。そうした活動からつなげて、地図や写真などを活用して、市全体の様子へ視野を広げるようにすることが大切です。

### (3) 学習活動

本単元では、身近な地域について、地図や写真などの資料で身近な地域の位置や地形、土地利用、交通の広がりなどを観察したり調べたりして、白地図などにまとめるようにします。また、観察・調査して必要な情報を集める技能、地図などの資料から位置や地形、広がりや分布などを読み取る技能、地図記号を使って、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

身近な地域の様子について、都道府県内における位置、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめ、身近な地域の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしたりする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 都道府県内における位置、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、身近な地域の様子を理解している。 ② 調べたことを白地図などにまとめ、身近な地域の市の様子を大まかに理解している。	① 都道府県内における位置、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見出し、身近な地域の様子について考え、表現している。 ② 自分たちの地域の様子について、地形や土地利用、交通の広がりなどを関連付け、場所による違いを考え、表現している。	① 身近な地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 単元の構想と評価（8時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<div data-bbox="164 255 991 427" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①②身近な地域の様子について、問いを見出し、身近な地域の様子について学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> </div> <div data-bbox="164 443 794 517" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>生活科の学習で使った写真・イラストマップ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1、2年生の時もまちたんけんに行ったよ。</li> <li>・ 公園やお店をたくさん見つけたね。</li> <li>・ グループで気になる場所にインタビューに行ったよ。</li> </ul> <div data-bbox="164 689 555 763" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>屋上からの景色・航空写真</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園や神社が見えるよ。</li> <li>・ 川が流れているね。</li> <li>・ 高い建物があつて、見えない所もあるね。</li> </ul> <div data-bbox="172 943 874 1077" style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>（単元を見通す学習問題）</b> わたしたちのまちは、どのような様子なのだろうか</p> </div> <div data-bbox="177 1122 842 1189" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>何をどのように調べるのか、学習計画を立てよう</p> </div> <p>&lt;調べること&gt; <u>地形や土地利用の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高い所や低い所には、何があるのだろうか。</li> <li>・ どこに森林や緑地、田畑や工場があるのだろうか。</li> <li>・ どこにお店や住宅があるのだろうか。</li> </ul> <p><u>公共施設や古くから残る建造物の視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どこにみんなが利用する施設や、神社や寺などの古くから残る建物があるのだろうか。</li> </ul> <p><u>交通の広がり視点の例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道や道路はどのように通っているのかな。</li> </ul> <p>&lt;調べ方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなでたんけんしたい場所を決めよう。</li> <li>・ 気づいたことを写真に撮ったり、白地図に書き込んだりしよう。</li> <li>・ 絵地図にまとめよう。</li> </ul> <p><b>みんなで学習の計画を立てたよ。次はまちたんけんに行ってまちの様子を調べに行こう</b></p>	<p>○生活科の学習や生活経験をもとに、意欲的に学習をスタートできるようにする。</p> <p>○四方位や八方位をおさえるために、方角の伝え方を意識するように声掛けをする。</p> <p>（思一①） 身近な地域の様子について、問いを見出している。</p> <p>○学習全体の見通しをもたせるために、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所、古くから残る建造物などの視点を基に身近な様子について調べていくことをつかませる</p> <div data-bbox="1018 1738 1161 1783" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>（態一①）</p> </div> <p>身近な地域の様子について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

③④まちたんけんを行い観察・調査して必要な情報を集めたり、調べたことをまとめたりして身近な地域の様子について分かるようにする。

〇〇コースは、どのような様子なのだろうか

〇〇コースをたんけんしよう

#### 土地利用の視点

- ・家が多いね。お店や大きなスーパーもあるよ。
- ・遊歩道には休憩する所とか遊具もあった。

#### 地形の視点

- ・平らな道が多くて、自転車もたくさん通っていたよ。

#### 公共施設の視点

- ・消防署、郵便局もあったね。

〇〇コースは、道が平らな道で、家がたくさん並んでいた。買い物するところとか、みんなが使う場所があっといういな。

⑤ 副読本を使って必要な情報を集め、調べたことをまとめ、身近な地域の様子について理解している。

△△コースは、どのような様子なのだろうか

△△コースを副読本で調べよう

地域副読本・地域の写真等

#### 土地利用の視点

- ・大きな家やマンションが多かったね。

#### 地形の視点

- ・坂が多かったね。

#### 古くからある建造物の視点

- ・神社やお寺もいくつかあったよ。

△△コースは坂が多く、大きな家やマンションがたくさんあった。公園や木がたくさん生えているところも多かったな。神社やお寺もあって、昔からあるものが残っている。

⑥ 身近な地域の交通の広がりに着目し、土地利用の様子と社会的な条件や地形条件を関連付けて、身近な地域の様子を考え表現するようにする。

○まちたんけんは、「地理的に見て身近な地域の特徴がわかりやすい」「市の学習（今後の単元）につながる」場所を1コース程度に精選し行う。

(知一①)

観察・調査して必要な情報を集め、調べたことをまとめ、身近な地域の様子について理解している。

○「自分たちの市」に重点を置いた効果的な指導を行うため、まちたんけんのコースを1つ程度に精選し行い、それ以外の場所は地域副読本等を活用する。

(知一①)

必要な情報を集め、調べたことをまとめ、身近な地域の様子について理解している。

車やバスが多く通る幹線道路の写真

幹線道路の交通量の表

なぜ、わたしたちのまちの道路は車やバスが多く通るのだろうか

- ・車で出かけるときに、東名川崎や川崎駅、武蔵小杉駅に行くことがあるよ。
- ・バスで溝の口、武蔵新城、武蔵中原に行ったよ。

川崎市の交通に関する地図

- ・わたしたちのまちから川崎だけでなく、横浜や東京の方にも行けるね。
- ・車に乗って高速道路を使えば、もっと遠くにも行けるよ。

なぜ、わたしたちのまちに車やバスがたくさん走っているのか  
というと、車やバスで駅に行くことができたり、高速道路を使えば、東京都や横浜市にもつながっているから、もっと遠くまで行くことができたりするからなんだね。

⑦⑧調べたことを白地図などにまとめ、場所ごとの様子を比較して、身近な地域の様子は場所によって違いがあることを考え、身近な地域の様子を大まかに分かるようにする。

まちたんけんや調べたことを白地図にまとめよう

個人で作成する白地図（B4サイズ 1枚程度）

クラスでまとめた白地図（A3サイズ×2枚程度）

- ・大きなマンションや家がたくさんあったね。
- ・広い道路沿いには、お店や工場がたくさんあったよ。

（単元を振り返る学習問題）

わたしたちのまちは、どのような様子なのだろうか

- ・わたしたちのまちは、コースによって違う様子だった。

地形の視点

- ・坂の道が多い所と平らな道が多い所で土地の高さも違ったね。

（思一②）

土地利用の様子と社会的な条件や地形条件を関連付けて、身近な地域の様子は場所によって違いがあることを考え、表現している。

○観察したり調べたりしたことを個人で白地図にまとめる。その際、地図帳を参照し、方位や主な地図記号を使うことを指導する。

○個人で作成した後、クラスで白地図をまとめ、まちの大まかな様子を理解させるために、それを基に説明し合い、場所によって違いを考えるなど、全体で共有する時間をもつ。

○ここで使用した白地図（学区地図）は市の様子で作成した白地図と合わせて作品展に出すことが考えられる。（詳細は「市の様子」を参照）

土地利用、建物の視点

- ・〇〇コースは公共施設やお店が多かったけど、△△コースは家やマンション、お寺など古い建物が多かったよ。

交通の広がりの視点

- ・駅の周りにはバスがたくさん走っているよ
- ・広い道路が東西に通っていたよ

わたしたちのまちは、土地が低く住宅や公共施設などがある所と、土地が高くて家やマンションが多い所があるよ。また、公園や神社、お寺などが多い場所もあるよ。そして、東京都や横浜市につながっている大きな国道があるんだね。

(思一②)

場所ごとの様子を比較して、身近な地域の様子は場所によって違いがあることを考え表現している。

(知一②)

調べたことを白地図などにまとめ、身近な地域の様子を大まかに理解している。

## 1. 単元名 「市の様子」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などを基に、市の様子について大まかに理解するようにします。本単元は、授業時数の配分などを工夫するため、前単元の身近な地域を見学したり聞き取り調査をしたりして情報を集める際の視点を、市全体を調べる際に生かして市全体の地理的環境の概要を理解できるよう工夫することが大切です。また、地図帳を使って方位や主な地図記号について扱うようにすることが示されています。市の様子に関する内容の指導においては、自分たちの市の位置を確かめたり調べたことを白地図にまとめたりする際に必要となる方位や主な地図記号について、地図帳を参照して理解し活用できるようにすることが求められています。方位については、四方位と八方位を扱います。その際、児童の実態等も考慮に入れ、最初に四方位を取り上げ、八方位については、ここでの学習も含めて4年生の学習修了までに身に付けられるようにします。主な地図記号については、地図から市の様子を読み取ったりする際に、地域の実態を踏まえて必要なものを扱うようにします。

#### (2) 学習過程

本単元では、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、例えば、市はどこに位置しているか、どのように広がっているか、どのように利用されているかなどの問いを設けて調べたり、場所ごとの様子を比較して違いを考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。実際の指導に当たっては、地理的に見て特徴のある場所や主な公共施設などを観察・調査したりする活動が考えられます。そうした活動からつなげて、地図や写真などを活用して、市全体の様子へ視野を広げられるようにすることが大切です。

#### (3) 学習活動

本単元では、市の様子について、地図や写真などの資料で市の位置や地形、土地利用、交通の広がりなどを観察したり調べたりして、白地図などにまとめるようにします。本単元では、観察・調査して必要な情報を集める技能、地図などの資料から位置や地形、広がりや分布などを読み取る技能、地図記号を使って調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図にまとめ、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて見学したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ② 調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの市の様子を大まかに理解している。	① 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見出し、市の様子について考え表現している。 ② 自分たちの市の様子について、市の地形や土地利用、交通の広がりなどを関連付け、場所による違いを考え、表現している。	① 市の様子について予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。



### 5. 単元の構想と評価（12時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①②川崎市について関心をもち、意欲的に問いを見出し、市の様子について追究、解決するために調べる計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p>	<p>○自分の住んでいる川崎市は県の中でどこにあるのかを発問し、県の中での位置をつかめるようにする。</p>
<p>川崎市の位置を地図帳で調べよう</p> <p>地図帳 □ 副読本『かわさき』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川崎市は神奈川県の北と東の間にあるんだね。</li> <li>東京都と横浜市には含まれているんだね。</li> </ul> <p>川崎市を代表する場所・建物等の写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全部、川崎市にあるんだ。知らなかったよ。</li> <li>川崎市についてもっと知りたいな。</li> </ul>	<p>○川崎市を代表する場所や建物等として臨海部の工場や川崎大師川崎駅周辺、小杉駅周辺、多摩丘陵等の写真が考えられる。</p> <p>(思-①) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見出している。</p>
<p><b>(単元を見通す学習問題)</b> 自分たちの住んでいる川崎市は、どんな様子なのだろうか</p>	<p>○身近な地域の学習の視点を生かして学習計画を立てさせる</p>
<p>何をどのように調べるのか、学習計画を立てよう</p> <p>&lt;調べること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地形や土地利用について調べよう</li> <li>公共施設の様子について調べよう</li> <li>古くから残る建物について調べよう</li> <li>交通の広がりについて調べよう</li> </ul> <p>&lt;調べ方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>副読本や図書館にある資料を使って調べよう</li> <li>川崎市の様子を見学して調べたいな</li> <li>白地図に書き込んだり絵地図にまとめたりすると川崎市の様子がよく分かるね</li> </ul> <p><b>みんなで学習の計画を立てたよ。これから川崎市の様子を調べていこう。</b></p>	<p>(態-①) 川崎市の様子について学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>
<p>③地図などの資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、白地図にまとめて川崎市の地形や土地利用を分かるようにする。</p>	
<p>川崎市の地形や土地利用はどんな様子なのだろうか</p>	
<p>川崎市の地形や土地利用について白地図にまとめよう</p>	<p>○地形や土地利用の特色に気付かせるために、事前に川崎市の地</p>

地図帳

副読本「かわさき」

川崎市の白地図

- ・北西側は土地が高く緑が多いね。畑や果樹園も多いね。
- ・南東側は土地が低くて大きなビルやお店、施設が多いね。
- ・南東側の東京湾の方は、工場がたくさんあるね、
- ・川崎市には鉄道や道路が東西南北に広がっているね。

川崎市の地形や土地利用、交通の広がりについて分かったよ。次は実際に川崎市内を見学してみよう。

④⑤⑥⑦見学して調べ、ワークシートや白地図にまとめ、川崎市の市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて分かるようにする。

川崎市の公共施設や古くから残る建造物は、どんな様子なのだろうか

川崎市内見学をして、川崎市の様子についてワークシートや白地図にまとめよう

#### 見学の視点の例

- ・市役所など、公共施設がどこにあるのか見てこよう
- ・川崎駅の周りの土地利用について見てこよう
- ・市内にある古くからある建物はどこにあるのか調べよう

#### ワークシートや白地図への記入例

- ・川崎駅の周りの大きなビルやお店がいっぱいだね。
- ・南東の方は港があって、大きな船で車を運んでいたね。
- ・川崎駅の近くには、市役所があったね。
- ・川崎大師という昔からあるお寺があるんだね。

川崎市の南東側は大きなビルやお店がたくさんあったね。川崎駅の近くには私たちの生活を支えてくれている市役所があった。川崎大師という古くからあるお寺もあり、海沿いには工場が広がっていたよ。

⑧川崎市の様子の交通の広がりに着目し、土地利用の様子と社会的な条件や地形条件を関連付けて、身近な地域の様子を考えるようにする。

JR 川崎駅の改札付近の写真

形や土地利用、交通網の広がり様子を大まかに書き込んだ白地図に、色を塗ったり、調べたことを書き込んだりさせる。

(知一①)

調べたことを白地図にまとめ、川崎市の地形や土地利用、交通の広がりなどを理解している。

○見学は学校の実態に応じて判断する。行わない場合や見学で見られない所は副読本「かわさき」や地図等を活用する。

○見学先は、地形や土地利用、交通の広がり、公共施設の場所と役割、古くから残る建造物の分布の点から見て、特徴的な場所を選定することが考えられる。(ここでは、川崎駅方面を見学先にして)

○市役所は必ず扱い、その位置と「みんなの生活を支えている場所」であることに触れる。

(知一①)

見学をして調べ、ワークシートや白地図にまとめて川崎市について、地形や土地利用、交通の広がり、市役所などの公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などを理解している。

### JR 川崎駅と身近な駅の利用者数の表

- ・川崎駅は、わたしたちの身近な駅と比べてたくさんの人が利用しているんだね。

なぜ、川崎駅は多くの人が利用しているのだろうか。

- ・買い物に来るからじゃないかな。
- ・仕事に来るからじゃないかな。
- ・川崎駅の周辺には、大きなビルやお店、公共施設がたくさんあったね。

### 川崎市 of 鉄道分布図

川崎駅の周りは、お店や公共施設などが多く集まっていて便利だから多くの人が利用しているんだ。そして、川崎駅周辺に来るだけでなく、電車で横浜市や東京都に行くことができるから、川崎駅を多く利用するんだね。

⑨⑩⑪⑫調べたことを白地図や文にまとめ、調べたことを白地図などにまとめ、場所ごとの様子を比較して、川崎市の様子は場所によって違いがあることを考え、川崎市の様子を大まかに分かるようにする。

川崎市内見学や調べたことを白地図にまとめてみよう

個人で作成する白地図（B4サイズ 1枚程度）

クラスでまとめた白地図（模造紙2枚程度）

### （単元を振り返る学習問題）

自分たちの住んでいる川崎市は、どんな様子なのだろうか

- ・川崎市は神奈川県 of 北東にあったね。
- ・川崎市 of 北西側は田畑や緑があったね。
- ・川崎市 of 南東側は大きなビルやお店、施設が多かったね。
- ・川崎市について学習したことを誰かに伝えたいな。

クラスでまとめた白地図を使って、お家の人に川崎市を紹介する文章を書こう

（紹介文 of 例）

川崎市は、神奈川県 of 北東にあり、北西から南東にのびて

（思－②）

土地利用の様子と社会的な条件や地形条件を関連付けたりして、身近な地域 of 様子は場所によって違いがあることを考えている。

○ここで使用した白地図（市 of 様子）は、身近な地域で作成した白地図と合わせて作品展に出すことや今後の学習で活用することが考えられる。

○市 of 様子を大まかな理解するために、観察したり調べたりしたことを個人やクラスで白地図にまとめ、それを基に紹介文を書かせる

（思－②）

川崎市 of 様子について、場所ごとの様子を比較して、場所によ

いる細長い市です。市の北西側には田畑や緑が多くあり、南東側には海や工場、ビルや大きな商店街もあります。電車やバスもたくさん通っていて便利です。川崎大師などの昔からあるもの残っています。場所によって特色が違う川崎市に自分たちは住んでいます。川崎市について学習したら、川崎市のことが前よりも好きになったよ。

る違いを考え、表現している。

(知一②)

調べたことを白地図や文などにまとめ、川崎市の様子を大まかに理解している。

## 「身近な地域や市の様子」と絵地図のあり方について

### 「身近な地域や市の様子」における絵地図の考え方

◎身近な地域や市の様子を理解する学習において、観察・調査したり、地図や写真、動画などの資料を活用して調べたりして白地図にまとめる（以下、絵地図）

### →身近な地域・市それぞれにおいて学習の中で絵地図作りを行う

（身近な地域 A3×2 枚程度、市模造紙 2 枚程度）

◎学習の中で、学級でまとめてきた地図を使って場所による違いについて、考え、理解し、それを説明する活動を重視する。

### →絵地図作りが目的ではなく、それを活用しながら学習を進める

### 作品展における絵地図の考え方

身近な地域や川崎市の学習の両方で絵地図作りを行うため、作品展では、「**学区のみの絵地図**」を廃止する。今後は、「身近な地域や市の様子」の学びの足あとという位置づけで、学習の中で作られた**市がメインの絵地図（模造紙 2 枚程度）**を募集する。

（絵地図のイメージ）

学習の成果が表れた市の様子を表すタイトル

身近な地域の絵地図 A3×2 枚程度



#### 【盛り込むべき項目の例】

- ・凡例、方位記号
- ・市の特色等の説明
- ・地域ごとの特色がわかるまとめ
- ・土地利用の様子がわかる色分け
- ・施設等の表記

## 1. 単元名 「店ではたらく人と仕事」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、販売の仕事は消費者の需要を踏まえて売り上げを高めるよう工夫していること、商店では商品の並べ方、値段の付け方などを工夫して販売していること、販売の仕事は商品や人を通して国内の他地域や外国とも関りがあることなどを基に、販売の仕事の様子について理解するようにします。販売の仕事については、身近な地域にある、例えば、小売店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、デパート、移動販売などの中から選択して取り上げることとし、その際、国内の「他地域や外国との関わり」について指導することを示しています。例えば、販売における商品の仕入れ先を調べる際、地図帳などを使って、都道府県や外国の名称と位置を確かめる活動を行い、自分たちの消費生活を支えている販売の仕事は国内の他地域や外国と結び付いていることに気付くように指導する必要があります。

#### (2) 学習過程

本単元では、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、例えば、消費者はどのようなことを願って買い物をしているか、商店の人は消費者の願いに応え売り上げを高めるためにどのような工夫をしているか、商品や客はどこから来ているかなどの問いを設けて調べたり、販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。実際の指導に当たっては、販売の仕事と自分たちの生活との関わりについて調べる際には、個人のプライバシーに十分配慮する必要があります。また、外国を取り上げる際、我が国や外国には国旗があること、いずれの国でも国旗を大切にしていること、及び我が国の国旗を尊重するとともに、外国の国旗を尊重することが大切であることなどを指導することが大切です。その際、取り上げた外国の国旗を地図帳などで確認することなどを通して指導するように配慮する必要があります。

#### (3) 学習活動

本単元では、地域に見られる販売の仕事について、商店などを見学したり、地図などの資料で生産の種類の種類や産地の分布、商品の仕入れ先や商圈を調べたりして、市の白地図などにまとめるようにします。ここでは、見学・調査して必要な情報を集める技能、地図などの資料から分布や地域間のつながりなどを読み取る技能、方位や位置などを確かめながら、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

販売の仕事について消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。</p> <p>② 調べたことを白地図などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。</p>	<p>① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して問いを見出し、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。</p> <p>② 販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付け販売に携わっている人々の仕事に見られる工夫を考え、適切に表現している。</p>	<p>① 地域にみられる販売の仕事について予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

5. 単元の構想と評価（10時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考(○)と具体的評価規準
<p>① ②これまでの生活経験や地域の学習をふまえて、自分たちの買い物について着目し、問いを見出し予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>まちの絵地図・まちたんけんに行った際の写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お肉や野菜をスーパーで買っているよ。</li> <li>・飲み物やお菓子をコンビニで買ったよ。</li> <li>・パンはパン屋さんで買うよ。</li> </ul> <p>買い物調べをしよう</p> <p>買い物調べの結果を表すグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーが圧倒的に多いね</li> <li>・スーパーの利用が多いのはなぜだろう。</li> </ul> <p><b>(単元を見通す学習問題)</b> スーパーではたくさんのお客さんを集めるためにどのような工夫をしているのだろうか</p> <p>予想をもとに学習計画を立てよう</p> <p>&lt;見学の視点&gt;</p> <p><u>商品の種類や品数、並べ方に関する工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん種類の品物がありそう。</li> <li>・取りやすいようにきれいに並べていそう。</li> </ul> <p><u>値段に関する工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安売りは目立つようにしていそう。</li> <li>・値段が目立つように大きくカードに書いてありそう。</li> </ul> <p><u>品質に関する工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉や魚は冷やして売っていると思う。</li> <li>・売る前に検査をしていると思う。</li> </ul> <p><u>施設やサービス</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車でも来やすいように、駐車場があると思う。</li> <li>・買い物した物が入られるように袋がもらえそう。</li> </ul> <p><u>働く人の姿に関する工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔であいさつしていそう。</li> <li>・商品をきれいに並べていそう。</li> </ul> <p><b>見学の視点をもとに、スーパーを見学して来よう。</b></p>	<p>○販売の仕事に目が向くようにまちの絵地図やまちたんけんの写真を提示する。</p> <p>○買い物調べは、「どこで」「何を買ったのか」「思った事」等を記入できるカードを用意する。その際、個人のプライバシーに十分配慮する</p> <p>○視覚的に結果が分かるよう、棒グラフにまとめておく。</p> <p>(思-①) 実際の買い物について着目して問いを見出している。</p> <p>○視点づくりの参考になるように、まとめた模造紙を掲示する。</p> <p>○予想したことが確かなのかどうか見てこられるように、具体的に何を見るかを支援、確認する。</p> <p><b>(態-①)</b> スーパーの工夫について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p>

③④スーパーの販売の様子を視点に基づいて見学したり、聞きとったりして、必要な情報をワークシートにまとめ、販売の仕事の様子について分かるようにする。

スーパーの売り場ではどんな工夫をしているのだろうか

スーパーの見学をしよう

- ・牛乳だけでもたくさんの種類の商品があった。
- ・魚はその場で切って売ってくれるから調理しやすくなる。
- ・商品は千種類ぐらいあるそうだよ。
- ・おすすめ商品は入口の近くに置くんだよ。
- ・駐車場にたくさんの車が入り出していたよ。
- ・野菜は冷蔵庫で冷やして新鮮にしているんだよ。

スーパーにはたくさんのお客さんを集めるためのいろいろな工夫があったね。

⑤ 販売の仕事は消費者の願いを踏まえ、選べるよう多くの商品を提供し、並べ方や値段の安さを伝えるなど様々な工夫をしていることが分かるようにする。

スーパーの売り場ではどんな工夫をしているのだろうか

商品の種類や品数、並べ方に関する工夫

- ・たくさんの種類の品物があったね。
- ・千種類ぐらいあるそうだよ。
- ・きれいに並べてあったね。
- ・賞味期限が近いものを手前に並べるんだよ。
- ・おすすめ商品は入口の近くに置くんだよ。

値段に関する工夫

- ・安売りのカードがあってわかりやすい。
- ・賞味期限が近づくと安売りをするんだよ。

品質に関する工夫

- ・野菜は冷蔵庫で冷やして新鮮にしているんだよ。
- ・魚はその場で切って売ってくれるから便利だね。

施設やサービス、働く人の姿に関する工夫

- ・店員さんが笑顔であいさつをしていました。
- ・レジの後ろにはロール状のビニール袋があってすぐ使えるよ。
- ・駐車場にたくさんの車が入り出していたよ。

スーパーではお客さんを集めるために新鮮さや安さを伝え

○視点にそった見学ができるように、スーパーの担当者などと見学や話してもらった内容を打ち合わせておく。

(知一①)

視点に基づいて見学したり聞きとったりして必要な情報をワークシートにまとめ、販売の仕事の様子について理解している。

○自分が調べたことと、友達が調べたことを共有化し、それぞれの視点についてスーパーの工夫していることをまとめる。

○視点ごとに分けて板書する。

(知一①)

見学して集めた情報を読み取り、販売に携わっている人々



るために値札の表示の仕方や並べ方を工夫している。だから、たくさんの人がスーパーに集まるんだね。

⑥販売者側が一種類の商品の売り方を考えて販売している理由について、消費者のニーズを関連付けて考え表現するようにする。

- ・お客さんのための工夫はいっぱいあるよ。
- ・売り方にも工夫があるよね。

様々な形で販売されているキャベツの写真

- ・半分に切っている。
- ・袋に入っているのは、細かく切っているね。

どうしていろいろな形でキャベツが売られているのだろうか

- ・半分で足りる人もいるからかな。
- ・たくさんお店にキャベツがないからかな。
- ・すぐに食べられるようにだと思う。

店員さんの話（カット野菜を売る理由）

スーパーではお客さんの願いに応えるために、同じ種類のもので、お客さんの好みの量に合わせてカットするなど、売り方を工夫をしているんだね。

⑦スーパーでは、商品の新鮮さを保つために定期的に温度チェックをしていることが分かるようにする。

- ・スーパーはお客さんのために色々な工夫をしている。
- ・値引きやきれいに並べる工夫をしているんだよ。

冷蔵庫の前で店員さんが温度チェックをしている写真

- ・何か並べているのかな。
- ・値引きのシールをはっている。
- ・品物のチェックをしていると思うよ。

温度チェック用紙を拡大した写真

- ・書いてある数字は何だろう。温度チェックをしているんだよ。
- ・1時間ごとにチェックしているね。

の様子を理解している。

○見学ではわからなかった工夫やその理由を理解するために、販売者側の話を紹介する。

(態-①)

見学を振り返り、さらに調べることを見出し、追究しようとしている。

(思-②)

販売者側が一種類の商品の売り方を考えて販売している理由について、消費者のニーズと関連付けて考え表現している。

○温度管理表など、スーパーの見学時には、子どもたちの目につかないような工夫を取り上げ、これまでの学習と関連付けながら、その工夫の意図を考えられるようにする。

どうして店員さんは冷蔵庫の温度を1時間おきにチェックしているのだろうか

- ・時間が経って、温度が変わっていないか、調べているんだよ。
- ・温度が変わると、食品が傷むからかな。

店員さんの話

- ・新鮮な食品を消費者に買ってもらいたいからなんだ。
- ・商品の質を維持するためだろうな。

スーパーではお客さんに新鮮な商品を売るための工夫として、**温度を細かくチェックしているんだ。**

⑧私たちが買っている食べ物は各地から届けられており、販売の仕事は、他地域と密接にかかわっていることが分かるようにする。

産地が書いてある値ふだの写真

私たちが食べているものはどこから来ているのだろうか

折り込み広告 日本のお白地図

- ・じゃがいもは北海道から来ているよ。
- ・ねぎは埼玉県から来ている。
- ・神奈川県のお野菜もあるよ。

**私たちが普段食べているものは、日本中のいろいろなところから届けられているんだね。**

⑨⑩スーパーの販売の工夫について、調べたことを関係図などにまとめ、販売する側の工夫と消費者の願いを関連付けて考え、販売の仕事が消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高める工夫をしていることを分かるようにする。

(単元を振り返る学習問題)

スーパーではお客さんをたくさん集めるためにどのような工夫をしているのだろうか

調べてきたことを関係図にまとめよう

これまで学習したノートやワークシート等

- ・お店の人は、多くの人に買い物に来てもらえるように工夫をし

(知-①)

販売の仕事に携わる人は、消費者が安心して品物を買えるように安全面に気を付け、消費者のニーズに合わせて加工し品出しをしていることを理解している。

○地域の販売の仕事が全国とつながっていることを視覚的に捉えられるように、折り込み広告を見ながら、商品の産地に注目できるようにする。

○外国産食品についても適宜取り上げるようにする。

(知-①)

地域の販売の仕事は、他地域と密接に関わっていることを理解している。

○販売者側の工夫について多様な観点から考えられるように、これまでに学習したことを教室に掲示しておく。

(思-②)

販売に携わっている人々の仕事の様子について、販売する側の工夫と消費者の願いを関連付けて考え表現している。

(知-②)

ていたね。

- ・並べ方を工夫していたね。

スーパーマーケットでは、お客さんをたくさん集めるために、品物の種類を増やしたり、並べ方を工夫したりしていた。商品を日本全国から取り寄せて売っているのは、お客さんがたくさんある中から選ぶことができるからだ。お客さんたちの願いにこたえながら売り上げを高めようとしていた。

調べたことを関係図などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。

## 1. 単元名 「工場ではたらく人と仕事」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、生産の仕事は、自分たちの住む地域には様々な生産に関する仕事があること、産地は市内に分布していること、生産するには一定の順序や工程があること、地域で生産された物は地域の人々の生活に使われていることなどを基に、生産の仕事の様子について理解するようにします。生産の仕事に関する内容について事例として取り上げる際には、例えば、地域の実態に応じた学習が展開できるか、市の人々の仕事の特色を具体的に捉えることができるかなどに留意し、農家の仕事、工場の仕事などの中から選択して取り上げるようにします。また、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、生産の仕事は、地域の人々の生活に密接な関わりをもって行われていることを理解するようにします。

#### (2) 学習過程

本単元では、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、例えば、市内にはどのような生産の仕事があるか、それらはどこに集まっているか、どのようにして生産されているかなどの問などを設けて調べたり、生産の仕事と地域の人々の生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。実際の指導にあたっては、まず市内巡りを想起しながら、川崎市内の工場の分布に着目できるようにし、生産しているものを調べ白地図にまとめます。次に川崎市内の工業の様子から自分たちのまちに視点をもっていき、どのように製品が造られているか単元を見通す学習問題を設定します。学習問題を解決するにあたり、工場見学の視点をつくってから工場見学に行き、仕事の工程をまとめられるようにします。これらを通して生産の仕事と地域の人々の生活を関連付けて考え、調べたことや考えたことを表現できるような単元を構想することが大切です。

#### (3) 学習活動

本単元では、地域にみられる生産の仕事について、工場などを見学したり、地図などの資料で生産の仕事の種類や産地の分布、商品の仕入れや商圈を調べたりして白地図にまとめるようにします。ここでは、見学・調査して必要な情報を集める技能、地図などの資料から分布や地域間のつながりなどを読み取る技能、方位や位置などを確かめながら調べたことを白地図にまとめる技能を身に付けるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

生産の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活と関連を考え、表現することを通して、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり、地図などの資料を調べたりして必要な情報を集め、読み取り生産に携わっている人々の仕事の様子について理解している。 ② 調べたことを白地図などにまとめ、生産の仕事は地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	① 仕事の種類や原材料、仕事の工程などに着目して問いを見出し、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ② 生産の仕事の様子と地域の人々の生活を結び付けて、地域に見られる生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考え表現している。	① 地域にみられる生産の仕事について予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 単元の構想と評価（8時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>① ②地域にみられる生産の仕事について、仕事の種類や原材料、仕事の工程などに着目して問いを見出し、生産に携わっている人々の仕事の様子について学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> <p>-----</p> <p>地域の絵地図 地域の工場が記された地図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの地域にも工場がある。</li> <li>川崎市全体はどうなっているのだろう。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">川崎市にある工場を地図にまとめよう</p> <p>-----</p> <p>川崎市内の工場の分布・種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場というよりは会社はたくさんあるよね。</li> <li>川崎マリエンの方には大きな工場がとても多かった。</li> </ul> <p><b>川崎の南部には工場がたくさん集まっていた。市全体にも工場があり様々なものをつくっている。私たちの地域にも工場があった。何どんなものを作っているのだろう。</b></p> <p>-----</p> <p>段ボール工場の紹介 (15人で1時間に1000枚もの段ボールをつくる工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なんでこんなにたくさん作れるのだろう。</li> <li>どうやって作っているのだろう。どんな工夫があるのだろう。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"><b>(単元を見通す学習問題)</b> 段ボール工場ではどのようにして段ボールを作っているのだろうか</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">予想をもとに学習計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機械で段ボールのもとになるものを切って作っていると思う。</li> <li>手作業はたくさん作れないから全部機械かな。</li> <li>工場見学に行くときに何を見てくるか決めよう。 (視点の例) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仕事の工程</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">道具・機械</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">材料</span></li> </ul> <p><b>段ボール工場ではどんな段ボールをつくっているのかな。どんな機械を使っているのだろう。見学の視点をつくって見に行こう。</b></p>	<p>○工場に着目するために、絵地図や市内の分布図を提示し、川崎市内巡りで訪れた場所を想起できるようにする。</p> <p>○市内の工場の分布を捉えるために、白地図にまとめるようにする。</p> <p>○見学の視点をつくるために「仕事の工程」「道具・機械」「材料」などを板書に整理しながらまとめる。</p> <p>(思-①) 地域にみられる生産の仕事について仕事の種類や原材料、仕事の工程などに着目して問いを見出している。</p> <p>○見学の視点をつくるために「仕事の工程」「道具・機械」「材料」などを板書に整理しながらまとめる。</p> <p>(態-①) 工場での生産の様子について、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しを持ってい</p>

③④⑤見学を通して、仕事の種類や分布、仕事の工程などについて調べ、必要な情報を集め読み取り、生産に携わっている人々の仕事の様子について分かるようにする。

段ボール工場ではどのようにして段ボールを作っているのだろうか

段ボール工場を見学しよう

工場見学・工場の人のお話

- ・大きな工場ではないけど、機械がたくさん置かれていたね。
- ・いろいろな大きさの段ボールをつくっているね。
- ・緩衝材という段ボールに入れるものも作っているんだね。

段ボール工場で見学したことをまとめよう

段ボールの原材料・段ボール工場の写真・段ボールの出荷先

- ・原材料は古紙やリサイクルしたものだったよ。
- ・機械が大きく4つあって、切ったり印刷したり、束ねたりするのがあったね。
- ・1階と2階で作業が分かれて効率よく作られているね。

**段ボールは古紙からもつくられるんだ。段ボールが効率よく出来上がるために作る順番や機械も考えられているね。**

⑥工場で働く仕事の様子と地域の人々の生活を結び付けて、地域に見られる生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考え表現するようにする。

段ボールの切れ端を集めている箱の写真

なぜ段ボールの切れ端を集めているんだろうか

- ・集めて捨てやすくしているんだよ。
- ・工場内を整理して仕事をしやすくしているんだよ。

段ボールの材料について

- ・段ボールは紙からできているよね。
- ・空き缶やペットボトルも使ったら集めてリサイクルしてるね。

る。

○見学の際には、見学の視点がおさえられるようにするために、ワークシートで視点別に記入できるようにする。

○仕事の工程や種類に視点がいくようにするために、工場内の写真は機械ごとに掲示できるようにしていく。

○工程が理解できるようにするために、板書も図式化しながらまとめられるようにする。

(知-①)

見学を通して、仕事の種類や分布、仕事の工程などについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、生産に携わっている人々の仕事の様子について理解している。

○段ボールの切れ端を集める理由について考えられるようにするために、写真の出し方を工夫しながら掲示して学習問題を設定するようにする。

(態-①)

見学を振り返り、さらに調べることを見出し、追究しようとしている。

### 工場の人のお話

- ・リサイクルして再び大きな段ボールにできるように集めている。  
工場では段ボールの切れ端を集めてリサイクルできるように渡しているんだね。切れ端でも集めて元の材料にして、また段ボールを作れるようにしているんだ。そうやってわたしたちが普段なにげなく使っている段ボールができていくんだ。

⑦生産の仕事の様子と地域の人々の生活を結び付けて、地域に見られる生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考え表現するようにする。

### (単元を振り返る学習問題)

段ボール工場ではどのようにして段ボールを作っているのだろうか

調べたことを、図や文章にまとめよう

今までの学習の流れを掲示したもの

- ・工場では作業を効率よくできるようにしていたね。
- ・段ボールにも様々な大きさがあった。それはものに合ったものをいれるためだね。
- ・環境のことを考えながらものを造っていたね。

工場で働く人たちは役割分担をしながら、仕入れた段ボールシートを機械などを使って段ボール箱にする仕事をしている。作られた製品は何度もリサイクルして使われ、私たちの生活ともつながっている。環境のことや使う人のことを考えた工夫をされていて、お客さんに喜んでもらえる製品を作っている工場はすごいな。

⑧調べたことを白地図などにまとめ、生産の仕事は地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを分かるようにする。

実際に工場で作り、使われている段ボール箱の写真

- ・いろいろな用途で使われているんだ。
- ・クッション材としていらなくなった新聞紙を使うことで、段ボールの中に入れる製品が壊れないようにしているんだ。

○リサイクルについての話題がすぐに出た場合は、なぜリサイクルする必要があるのかについて問い直す。

(思-②)

工場で働く仕事の様子と地域の人々の生活を結び付けて、地域に見られる生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考え表現できるようにする。

○工場での生産の仕事の様子を総合して考えられるようにするために今までの学習の流れを確認しながら進める。

(思-②)

生産の仕事の様子と地域の人々の生活を結び付けて、地域に見られる生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考え表現している。

○川崎市内に視点を戻すために、他の工場はどうか問い返し考えを深められるよう



地域にある段ボール工場の良さは何だろうか

段ボール工場の良さが伝わるポスターを書こう

作られた段ボールがわたしたちに届くまでの過程

- ・届いた段ボールはリサイクルされて、使われている。
- ・普段、注目しなかった段ボールも自分たちの生活にたくさん使われているんだ。

川崎市内の工場で生産された製品の写真  
(川崎ものづくりブランド認定製品)

工場では段ボール箱に入れるものに合わせていろいろな形の段ボールを作っている。普段何気なく使っている段ボールが環境のことも考えたり、効率よく作られたりするような工夫があった。こんなすごい工場が自分たちの地域にあるのはうれしいな。川崎市内には工場がたくさんあり、川崎ものづくりブランドに認定されているから、それぞれ工夫しているのかな。

にする。

(知一②)

調べたことを作品などにまとめ、生産の仕事は地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。

## 1. 単元名 「火事からまちを守る」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元では、消防署が緊急指令室等を中心にネットワークを活用して相互に連携するとともに、火災が発生したときには状況に応じて迅速かつ確実に事態に対処していることや、近隣の消防署や警察署、市役所や病院、放送局、水・電気・ガスを供給している機関などが協力していること、消防団など地域の人々が組織する諸団体が緊急事態に対処していることなどを基に地域の安全を守る働きについて理解するようにします。地域の安全を守るために、相互に連携して、緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを指導するよう計画することが求められています。「緊急時に対処する体制をとっていること」については火災に重点を置くなど、取り上げ方に軽重をつけ、効果的に指導するようにします。また、防火設備の設置や点検、消防訓練の義務など火災の防止に関する法やきまりを取り上げ、地域の人々の安全な生活の維持と向上を図るための法やきまりを扱うようにします。

#### (2) 学習過程

本単元では、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応に着目して、例えばどこにどのような施設・設備があるか、どのように連携協力して火災や事故などの発生に備えたり対応したりしているかなどの問いを設けて調べたり、それらの諸活動と人々の生活を関連付けて考えたり、調べたことや考えたことを表現するようにします。実際の指導に当たっては、消防署や警察署などの関係機関や消火栓や火災報知器な、消防水利、消防団倉庫などの施設・設備の位置や分布について調べたり、働いている人の勤務体制や待機の仕方、訓練、施設・設備の点検などについて調べたりします。そして学習したことを基に、地域の人々が行っている火災予防などに関わる活動の中から、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたり、自分自身の安全を守るために日頃から心掛けるべきことを選択・判断したりして、それらを基に話し合う活動を行うことが大切です。

#### (3) 学習活動

本単元では、消防署などの関係機関や関連する施設・設備を見学したり、地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして、白地図などにまとめるようにします。本単元では、見学・調査して必要な情報を集める技能、施設・設備の位置、関係機関相互の協力関係などを読み取る技能、調べたことを白地図や図表にまとめる技能などを身につけるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとしたり、学習したことを基に、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表などにまとめ、消防署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>②消防署などの関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたり、選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①火災から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。</p>

5. 単元の構想と評価（9時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<div data-bbox="185 271 1007 450" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①②火災の件数から地域の安全を守る働きについて問いを見出し、予想や学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> </div> <div data-bbox="185 472 855 528" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>火事の写真      火災件数、火災規模のグラフ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに火事って起きているの？</li> <li>・年間○件の火災が起きているのに全焼がほとんどないのは、なぜだろう。</li> </ul> <div data-bbox="177 689 959 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>（単元を見通す学習問題）</b> だれがどのようにして、火事をふせいでいるのだろうか</p> </div> <div data-bbox="177 835 663 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想をもとに学習計画を立てよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防士さんがすぐ消してくれるんじゃないかな →消防士の取り組みを調べよう。消防署に見学に行きたいな。</li> <li>・周りの人がすぐに消防車を呼んだからからかもしれないね。 →119番通報の仕組みについて調べよう</li> <li>・最新の消火システムがあるのかな。 →消火施設について調べよう</li> </ul> <p><i>川崎市では火事がたくさん起きているが、そのほとんどがすぐに消されている。火事が起きたときにすぐに対応できるように気をつけていることがあるはず。それをこれから調べていこう。</i></p> <div data-bbox="185 1406 1015 1574" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>③④消防署見学を通して必要な情報を集め、火事になった場合、消防隊がどのようにしてすばやく出動しているのかについて分かるようにする。</p> </div> <div data-bbox="177 1608 914 1671" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>連絡を受けてから消防隊が現場に到着するまでの時間</p> </div> <div data-bbox="177 1709 1015 1787" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>消防士の人はどうのようにして早く現場にかけつけるのだろうか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場に一番近い道を覚えていて、その道を通って向かうのかな。</li> <li>・すぐかけつけられるように、常に消防服をきているのかも。</li> <li>・どのようにして、災害現場まですばやくかけつけることができるのか、実際に消防隊の人に聞いて確認していきたい。</li> </ul>	<p>○火事に対して強い恐怖心をいだく児童もいるかもしれないので、事前に確認し提示の仕方を配慮する。</p> <p>○写真や棒グラフなど、目で見てすぐわかるように提示の順番などを工夫する。</p> <p>○「全焼」の用語は補足説明する。</p> <p>（思－①） 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出している。</p> <p>（態－①） 火災から地域の安全を守る働きについて、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p> <p>○消防署の方と事前に打ち合わせをし、児童の質問に答えるだけでなく、実際に着替えをしたり、道具を見せてもらったりして、消防士の方の工夫や努力が実感できる見学にする。</p>

## 消防署見学をしよう

- ・すぐに対応できるように24時間交代で働いている。
- ・火災の情報が入ってすぐに出場の準備ができるようにしている。
- ・日頃から訓練や施設・設備の点検をしている。

**消防署の人は、火事が起きてなくても日ごろから訓練や道具の点検をするなどの努力をしているから、早く現場に駆け付けることができるんだ。**

⑤119番通報による火災発生時の情報伝達の仕組みを調べ、消防署などは、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることを分かるようにする。

### 119番通報の仕組み

- ・すぐに消防署につながるわけではないんだね。
- ・指令センターってなんだろう。なぜはじめにつながるのかな。

なぜ119番にかけると消防署ではなく、消防指令センターにつながるのだろうか

### 通報から出動までの関係図

- ・1つの通報から消防指令センターを通して、情報が広がっていくんだね。
- ・火事が起きた時に必要な機関のすべてにつながっているね。
- ・消防車を出動させるだけでなく、警察やガス会社にも連絡をとって火災に対応していることがわかるね。

**119番通報すると、消防指令センターから関係諸機関に指示が出され、連携して火災に対処できる体制が整えられているんだ。**

⑥学校の消防用設備を調べ、地図にまとめ、防災設備が計画的に配置されて分かるようにする。

### 校舎配置図・消防設備の写真

- ・火災に対処しているのは消防署だけでなく、学校にもあるんだな。
- ・どのくらいあるのか、学校内を調べてみよう。

学校では、火事を防ぐためにどんな工夫があるのだろうか

- ・各階に消火器がある。

○児童の予想を項目ごとにわけ、見学の視点を明確にする。

(知-①)

緊急時への備えや対応などについて、見学して必要な情報を集め、関係機関の諸活動を理解している。

○119番通報をした際につながる情報伝達の流れに着目させることで、「消防指令センター」の存在に気付かせるようにする。

○関係図を提示することで、一機関ごとにつながっているのではなく、消防指令センターから様々な機関につながり、連携を図れるようにしていることが分かるようにする。

(知-①)

消防署は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることを理解している。

(態-①)

見学を振り返り、さらに調べることを見出し、見通しをもって追究しようとしている。

○視覚的にわかりやすいよう

- ・理科室や家庭科室には、けむり感知器があるよ。
- ・あの鉄の扉は防火扉だったんだ
- ・火事を防ぐための工夫は、設備だけなのかな。

安全点検表

立ち入り検査の写真

- ・火事が起きそうな物はないか、火のつく所に壊れている所はないか、先生たちも定期的にチェックしているんだね。
- ・先生だけでなく、消防署の人が学校に来て、正しく火を使っているかや非常口が使えるかどうかの確認などを行っているんだね。
- ・設備が正しく動くかをつねに点検しているから安心だね。

**校内には、消火器や熱感知器、火災警報器などの消防施設や設備があり、安全を守る仕組みが整っている。先生や消防署の人も、点検や検査を行って、火事を防ぐために工夫しているんだね。**

⑦地域の消防用設備を調べ、防災設備が計画的に配置されていることや消防団が消防署と協力して火災防止に努めていることを分かるようにする。

- ・学校にはたくさんの工夫があったけど、地域ではどうなのかな。

地域では、火事を防ぐためにどんな工夫があるのだろうか

地域の設備の写真

消防団の写真

- ・消火栓がまちにたくさんあるね。
- ・消火栓があることで、大きな火事になることを防いでいるんだ。
- ・消防士じゃない人たちが訓練をしているよ。
- ・消防団っていうんだね。

消防団の人の話

- ・消防団の人は、まちをパトロールしたり、火事に気を付けるよう呼びかけたりして、火事を防ぐ工夫をしている。
- ・自分たちの住んでいるまちを自分たちで守りたいという思いをもって活動しているんだね。
- ・火事が起こった時は、消防署と協力して、大きな火事にならないように、地域の人の安全を守っているんだ。

**地域にも、学校と同じように火事を防ぐための設備があることがわかった。消防団の人たちは地域の一員として、消防署と協力して火事を防ぐために活動しているんだね。自分たちの住むまちは自分たちで守りたいという思いをもっているんだ。**

に、設備ごとに色や記号を用いて校舎図に記入させる。

- 学校内には、設備だけでなく、火事を未然に防ぐために点検などの人の工夫があることに気付かせる。

(知一①)

施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。

- 絵地図や写真、学校の副読本を活用しながら、地域の消防設備がどこにあるのか想起させたり、調べたりしながら、地域の設備に目を向けられるようにする。

- 火事を未然に防ぐための工夫だけでなく、火事が起こった時に大きな火事にならないようにする工夫もあるため、板書を整理しながら学習を進める。

- 消防署の人と消防団の服装が異なることに目を向けさせ、地域の消防士ではない人や身近な人が消防団として活動していることに気付かせるようにする。

(知一①)

地域の消防用設備を調べ、防災設備が計画的に配置されていることや消防団が消防

⑧調べたことを図表などにまとめ、消防署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを分かるようにする。

**(単元を振り返る学習問題)**

だれがどのようにして、火事をふせいでいるのだろうか

学習問題を振り返り、関係図にまとめよう

単元の中で使った資料など

これまでの学習で使われた資料や学習内容をまとめた掲示物

**消防署と地域の人々、その他の機関では、それぞれに火事を防ぐ工夫や大きな火事にしないための工夫をしていることが分かった。それぞれの機関が、協力しながら、火災を防ぐ工夫をしているから、わたしたちの安全が守られているんだ。**

⑨これまでに学習したことを基に選択・判断して表現したり、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたりするようにする。

わたしたちは火事を防ぐためにどんなことを考えていけばよいらうか

- ・消火器の位置を日頃から確認しておき、もしものときに備えたい。
- ・町内会の避難訓練には、参加できそうだよ。
- ・放火のきっかけを作らないためには、ごみを決められた場所以外の所に捨てないことが大切だね。
- ・火の近くには燃えやすい物を置かないように気を付けよう。
- ・火事を防ぐために色々な人々の協力があるから、私も日ごろから火事を防ぐ意識を高めたいな。
- ・家の人に消防士さんの活躍を伝えたいな。

**わたしたちも地域の一員としてできることを考え、火災を防ぐことができるように協力していくことが大切だ。**

署と協力して火災防止に努めていることを理解している。

○これまで学習した内容を想起し、消防署、地域などの様々な機関が連携して火事を防ぐ工夫をしていることを整理しながら、まとめることができるようにする。

**(知-②)**

調べたことを図表などにまとめ、消防署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。

○学習したことをまとめるだけでなく、一人一人が選択・判断した内容を書くことができるようにする。

○放火の件数を示すグラフを提示してもよい

**(思-②)**

学習したことを基に地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたり、選択・判断したりして表現している。

**(態-②)**

学習したことを基に、地域や自分自身の安全を守るためにできることを考えようとしている。

## 1. 単元名 「事故や事件からまちを守る」

## 2. 単元づくりのポイント

### (1) 教材化

本単元では、警察署が緊急指令室等を中心にネットワークを活用して相互に連携するとともに、交通事故、犯罪など緊急事態が発生したときには状況に応じて迅速かつ確実に事態に対処していることや、近隣の警察署、市役所や病院などが協力していることなどを基に、地域の安全を守る働きについて理解するようにします。地域の安全を守るために相互に連携して、「緊急時に対処する体制をとっていること」や、関係機関が地域の人々と協力して事故の「防止に努めていること」を指導するよう計画することが求められています。「防止に努めていること」については、事故に重点を置くなど、取り上げ方に軽重をつけ、効果的に指導するようにします。

また、登下校などにおける交通事故の防止に関する法やきまりを取り上げ、地域の人々の安全な生活の維持と向上を図るための法やきまりを扱うようにします。そして、学習したことを基に、地域の人々が行っている交通安全や防犯などに関わる活動の中から、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたり、自分自身の安全を守るために日頃から心掛けるべきことを選択・判断したりして、それらを基に話し合う活動を行うことが大切です。例えば、事故を引き起こさない生活の仕方や事故を起こしたり事件に巻き込まれたりしない行動について議論したり、標語やポスターなどを作成したりすることが考えられます。

### (2) 学習過程

本単元では、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応に着目して、例えばどこにどのような施設・設備があるか、どのように連携協力して事故などの発生に備えたり対応したりしているかなどの問いを設けて調べたり、それらの諸活動と人々の生活を関連付けて考えたり、調べたことや考えたことを表現するようにします。実際の指導に当たっては、警察署などの関係機関やガードレールや交通標識、信号、カーブミラー、子ども100番の家などの施設・設備の位置や分布について調べたりします。また、関係機関のそれぞれの役割や通信指令室を中心とするネットワークによる関係機関の相互の連携などを調べます。そして、学習したことを基に、地域の人々が行っている交通安全や防犯などに関わる活動の中から、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたり、自分自身の安全を守るために日頃から心掛けるべきことを選択・判断したりして、それらを基に話し合う活動を行うことが大切です。

### (3) 学習活動

本単元では、警察署などの関係機関や関連する施設・設備を見学したり、地図や関係機関が作成した資料などを調べたりして、白地図などにまとめられるようにします。ここでは、見学・調査して必要な情報を集める技能、施設・設備の位置、関係機関相互の協力関係などを読み取る技能、調べたことを白地図や図表などにまとめる技能などを身に付けることが大切です。



### 3. 単元目標

地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとしたり、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちにも協力できることや、自分自身の安全を守るために日頃から心掛けることを考えようとしたりする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>② 地域の安全を守る働きについて、調べたことを白地図や図表などにまとめ、警察署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>① 地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>② 警察署などの関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を比較・関連付けて、総合などして相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたり、自分自身の安全を守るために日頃から心掛けることを選択判断したりして適切に表現している。</p>	<p>① 地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことを基に地域社会の一員として自分たちにも協力できることや、自分自身の安全を守るために日頃から心掛けることを考えようとしている。</p>

5. 単元の構想と評価（7時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<div data-bbox="175 264 938 526" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①②地域の安全を守る働きについて施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について予想や学習計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。</p> </div> <div data-bbox="199 548 454 622" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>交通事故の写真</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故ってこわいね。</li> <li>・人が亡くなってしまうこともある。</li> </ul> <div data-bbox="199 739 662 813" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>川崎市の交通事故の移り変わり</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前より減ってきている。</li> <li>・被害を防ぐ取り組みをしているのかな。</li> </ul> <div data-bbox="175 925 938 1088" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>（単元を見通す学習問題）</b> 事故を防ぐために、どのような人々がどのような取り組みをしているのだろうか</p> </div> <div data-bbox="175 1122 662 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想をもとに学習計画を立てよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故が起きたとき警察の人が対応してくれている。 →警察官の取り組みについて調べよう</li> <li>・事故を防ぐ施設があるのかな。 →事故を防ぐ施設について調べよう</li> <li>・交通安全で横断歩道に立ってくれている人がいるよ。 →地域の人々の取り組みについて調べよう</li> </ul> <p><b>事故や事件が起きたとき警察の人はどのような仕事をしているのだろうか。事故や事件を防ぐために地域の人々はどのような取り組みをしているのだろうか。</b></p> <div data-bbox="183 1680 941 1899" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>③ 地域の安全を守る働きについて、見学・調査したり資料で調べたりして、必要な情報を集め、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて分かるようにする。</p> </div>	<p>○事前に交通事故や事件で嫌な思い出がないかを確認してから、効果的な資料提示を行うようにする。</p> <p>○数字の変化を効果的に提示することによって、疑問や驚きから学習問題を設定できるようにする。</p> <p>（思－①） 地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出している。</p> <p>（態－①） 地域の安全を守る働きについて学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。</p> <p>○自分たちの地域の中にある設備・施設についてクラス全体で見学に行くことも可能ではあるが（その際は2時間）、子どもの実態と時間数の状況で検討する。</p>
<div data-bbox="159 1933 957 2000" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域には事故を防ぐためにどのような備えがあるのだろうか</p> </div> <div data-bbox="191 2016 587 2083" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地域の事故防止設備の写真</p> </div>	

- ・これは学校の前にあるけど、何の意味があるのかな。
- ・信号も事故防止になっているんだね。
- ・他にもあるかもしれない。

地域の事故防止設備の写真

- ・横断歩道など、地域にはたくさん設備があった。
- ・標識は夜になって光が当たると光っていたよ。

**地域には事故を防ぐための設備がたくさんある。標識などもそれぞれの役割があり事故を防ぐ工夫につながっている。**

④ 地域の安全を守る働きについて、緊急時への備えや対応などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、関係機関の諸活動を分かるようにする。

警察の人はどのようにまちの安全を守っているのだろうか

- ・消防署と同じように事故が起きたらすぐに行けるような工夫があるのではないかな。
- ・事故が起きないようにパトロールをしている。
- ・交番でいろいろな相談にのってくれたよ。

通報から出勤までの関係図

パトロールの写真

- ・110番に通報をすると様々なところに連絡がいくんだ。
- ・110番は事件を防ぐためにも大切なんだね。

**警察の人は事故が起きると無線でやり取りをしながらすぐに現場に駆けつけている。事故や事件が起きないようにパトロールを行っている。警察の人がいるからわたしたちは安心して生活できている。**

⑤ 地域の安全を守る働きについて、事故や事件の未然防止などについて、見学・調査したり資料で調べたりして、必要な情報を集め、地域の人々の諸活動を分かるようにする。

パトロール隊の写真

- ・毎朝おうちの方が立ってくれている。
- ・先生や町内会の人たちも見かけたりするよ。

○事前に写真などの資料を準備し、子どもの調べる視点を明確にする。

(知一①)

地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置について、見学・調査したり資料で調べたりして、必要な情報を集め、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。

○警察署の人から直接話を聞くことができる場合はその時間を設定する。この単元は未然防止に重点を置くため、事故や犯罪の緊急対応の方に偏らないように配慮する。

(知一①)

地域の安全を守る働きについて、緊急時への備えや対応などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。

○地域によって見守りの実態は違うので、保護者やPTAの校外委

見守り隊の人はどのような活動をしているのだろうか

スクールガードリーダーさんの活動・話

- ・交通安全だけでなく、防犯のために地域を見守ってくれているんだ。
- ・地域の人や警察、様々な人が連携をしてわたしたちの安全を守ってくれているんだ。

**見守り隊の人たちは子どものことを考えて、事故や事件を防ぐために活動してくれている。スクールガードリーダーさんを中心に警察や保護者の方々が連携をしてわたしたちの安全を守ってくれている。**

- ⑥ 地域の安全を守る働きについて、調べたことを図表などにまとめ、警察署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを分かるようにする

#### (単元を振り返る学習問題)

事故を防ぐために、どのような人々がどのような取り組みをしているのだろうか

学習問題を振り返り、関係図にまとめよう

これまでの学習の資料

学区地図

- ・色々な人が守ってくれているから事故が減っているんだ。
- ・わたしたちの安全は多くの人の協力で守られている。

**まちにはきまりや事故防止の設備・施設がたくさんある。警察の人は24時間事故や事件に備えて仕事をしている。地域の人たちなど様々な人が協力してわたしたちの安全を守ってくれている。だからわたし達は安心して生活することができる。**

員など、事故の防止に携わっている方に話を聞けるようにする。

(知一①)

地域の安全を守る働きについて、事故や事件の未然防止などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、地域の人々の諸活動を理解している。

○最初に設定した学習問題を、今までの学習と関連付けて考えながらまとめられるように設備・警察・地域などカテゴリーを分けて板書する。

(知一②)

地域の安全を守る働きについて、調べたことを図表などにまとめ、警察署などの関係機関は地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。

- ⑦ 警察署などの関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を比較・関連・総合して相互の関連や従事する人々の働きを考え、学習したことを基に自分自身の安全を守るために日頃から心掛けることを選択・判断して表現したり、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたりするようにする。

安全に生活するために、自分たちができることは何だろうか

交通ルールについて

- ・夕方は街灯も少なく危険だから、交差点では気をつけたい。
- ・危険なことがあったら交番や子ども110番のある場所に避難しよう。
- ・事故に巻き込まれないように暗い場所には行かないようにしよう。
- ・安全に生活するためには、地域全体で交通ルールやマナーを守っていこうとする意識を高めることが大切だと思う。

**わたしたちも地域の一員としてできることを考え、事故や事件にあわないようルールを守って生活していくことが大切である。**

- 事故を引き起こさない生活の仕方や事故を起こしたり事件に巻き込まれたりしない行動についてポスターや標語で発信できるようにする。

(思-②)

警察署などの関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を比較・関連付けて、総合などして相互の関連や従事する人々の働きを考え、学習したことを基に自分自身の安全を守るために日頃から心掛けることを選択・判断して表現している。

(態-②)

学習したことを基に地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えようとしている。

## 1. 単元名 「市のうつりかわり」

### 2. 単元づくりのポイント

#### (1) 教材化

本単元は、自分たちの市は、昔から今に至る時間の経過に伴って、駅や道路などの交通網が整理されてきたこと、公共施設などが建設されてきたこと、土地利用の様子や人口が変化してきたこと、生活で使う道具などが改良され変わってきたことを基に、市や人々の生活の様子の移り変わりについて理解するようにします。また、「公共施設」について取り上げる際は、身近な地域や市の学習との関連を図り、公共施設の建設や運営には市役所が関わってきたことや、その建設や運営には租税が重要な役割を果たしていることに触れるようにします。「人口」について取り上げる際は、表や棒グラフなどを活用して、増減の傾向を大まかに捉えられるようにします。その際、少子化や高齢化が進んでいることや国際化が進んでいることなどに触れることも大切です。さらに、市役所などが作成している資料をもとに、市の将来について考えたり討論したりすることができるよう指導することが大切です。

#### (2) 学習過程

本単元では、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具など時期による違いに着目して、例えば、鉄道や道路はどのように整備されてきたか、どのような公共施設が建てられてきたか、土地の使われ方や人口はどのように変わってきたか、生活の道具はどのように変化してきたかなどの問いを設けて調べたり、その変化の傾向を考えたりして、調べたことや考えたことを表現するようにします。実際の指導に当たっては、市町村合併の時期、交通の整備や公共施設の建設、人口の増減など視点から市の様子が大きく変わった幾つかの時期に着目して、その頃の様子を調べる活動や、現在と比較して年表などにまとめる活動などが考えられます。そして、市全体の変化の傾向を考え、文章で記述したり、年表などにまとめたことを基に話し合ったりすることが大切です。

#### (3) 学習活動

本単元では、市の様子の移り変わりについて、博物館や資料館などの関係者や地域の人などへの聞き取り調査をしたり、関係機関が作成した資料などで調べたりして、年表などにまとめるようにします。本単元では、聞き取り調査で必要な情報を集める技能、時期の区分や時間の経過に沿って、調べたことを年表にまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切です。聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめる際には、時期の区分について、明治、大正、昭和、平成などの元号や、江戸時代などの言い表し方があることを取り上げるようにします。年表に元号などを位置付けて、市の様子の移り変わりを年代順に整理できるようにすることが大切です。

### 3. 単元目標

川崎市や人々の生活の様子について、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりしてまとめ、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとしたり、学習したことを基に、市の発展のために、市が将来どのようなようになってほしいかや、自分たちが市民としてどのように行動していけばよいか考えようとしたりする態度を養う。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市や人々の生活の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを年表や文などにまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解している。</p>	<p>①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見出し、市の人々の生活の様子について考え表現している。</p> <p>②川崎市や人々の生活の時間の経過に伴う移り変わりと、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いを比較・関連付け、総合などして、市の人々の生活の様子の変化を考えている。</p>	<p>①川崎市の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、これからの市の発展について、市が将来どのようなようになってほしいか、そのためには市民としてどのように行動していけばよいかなどを考えようとしている。</p>

5. 単元の構想と評価（10時間扱い）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①②昔の洗濯の仕方に興味をもち、道具の移り変わりについて分かるようにする。</p> <p>昔の暮らしの様子（大正・昭和初期）</p> <p>高度経済成長期の生活の様子</p> <p>現在の生活の様子</p> <p>・暮らしの様子が変わってきている。</p> <p>昔は、どのような道具を使って生活していたのだろうか</p> <p>・手で洗っていたと思う。 ・服を一生懸命こすっていたんじゃないかな。</p> <p>洗濯体験をしよう      洗濯板</p> <p>・手作業は大変だけど、汚れはものすごく落ちるよ。 昔の人は、洗濯は手作業で頑張っていたんだ。今の生活はとても便利になっているね。他の道具も昔は手作業だったのかな。</p>	<p>○大正・昭和初期、高度経済成長期、現在の3つに区分して学習を行うことの見通しがもてるような資料を選ぶ。</p> <p>○洗濯以外にも掃除機や炊飯器など他の家電製品を取り扱うことも可能である。</p> <p>○洗濯体験を通して、昔は手作業をしていたことや、道具に工夫があったことに気付かせる。</p> <p>（知－①） 洗濯体験を通して、現在と生活の仕方が異なっていると気付いている。</p>
<p>③様々な道具が時代によってどんどん便利になってきたことを分かるようにする。</p> <p>道具はどのように変わってきたのだろうか</p> <p>七輪の写真      ガスコンロの写真      IHの写真</p> <p>・手作業ですることが減ってきている。 ・便利になっていっているんだ。</p> <p>道具の移り変わりを年表に書き込もう</p> <p>大正・昭和初期、高度経済成長期、そして現在になるにつれて、道具はどんどん便利になり使いやすくなっている。そして手作業から電気を使うものへと変わってきているんだね。</p>	<p>○大正・昭和初期、高度経済成長期、現在のそれぞれの道具を、写真を基に比較することで、変化に気付けるようにする。</p> <p>○「井戸、ポンプ、水道」「大八車、自動車」などでも比べ、道具は変わってきたことを捉えられるようにする。</p> <p>○道具の変化を3つの時期に区分し、年表にまとめる。その際、元号を用いた言い表し方を取り上げる。</p> <p>（知－①） 時代が進むに従って、生活で使う道具が改良され変わってきたことを基に、人々の生活が便利になっていったことを理解している。</p>



④道具の変化に伴い、人々の生活の様子が変わってきたことから、川崎市の移り変わりについて問いを見出し、学習の計画を立て主体的に学習問題を追究し、解決しようとするようにする。

前時のまとめ

道具の年表

・道具は手作業から機械、自動へと変わっていったね。

**(単元を見通す学習問題)**

私たちの住む川崎市は、どのように変わってきたのだろうか

川崎市の地図

川崎市の昔と今の写真

予想をもとに学習計画を立てよう

土地利用

・住宅地が広がってきたのではないかな

公共施設

・学校や公園が増えてきたと思うよ

交通

・鉄道や道路が整えられたのだと覆う

人口

・市の人口が増えてきたと思う。

これから学習していくことは「土地利用」「公共施設」「交通」「人口」についての川崎市の移り変わりだ。どのようにして今の川崎市になったのか知りたいな。

⑤地図や資料から必要な情報を読み取り、年表にまとめ、川崎市の土地利用の様子の移り変わりを分かるようにする。

川崎市の土地利用の様子は、どのように変わってきたのだろうか

副読本「かわさき」 p 140

「昭和7年頃」「昭和40年頃」「平成29年頃」

・昭和7年頃は緑色が多いから、田畑が多かったんだね。  
・時代が進むにつれて、黄色が増えているよ。

○前時のまとめから、道具が時代と共に変わってきたことを確認する。

○道具の年表をもとに、同じ時期区分で川崎市がどのように変わってきたのか疑問を投げかけ、単元を見通す学習問題を設定する。

(思-①)

川崎市の様子の移り変わりについて問いを見出している。

○学習問題設定後、どんなことを調べていくか考え、学習の見通しをもてるようにする。

(熊-①)

川崎市の様子の移り変わりについて学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。

○学習計画から、本時は、土地利用について学習することを確認する。

○土地利用の変化を、3つの時期に区分し年表にまとめるようにする。

・南東の方から住宅や商店が増えていっているね。

昭和7年頃は田畑や緑が多かった。でも時代が進むにつれて、住宅や商店が増えていっていて、緑や田畑は北東の方に少し残っているだけだ。そして南東の方から住宅や商店が増えていっている。

⑥地図や資料から必要な情報を読み取り、年表にまとめ、公共施設の移り変わりを分かるようにする。

開校時の学校の写真や様子が書かれたもの

- ・今と学校の雰囲気が違うね。
- ・昔は学級数が今より少なかったんだ。

川崎市の学校は、どのように変わってきたのだろうか

川崎市の学校数の変化

副読本「かわさき」P134、P142

新しい校舎と古い校舎（設備の違いがわかる写真）

- ・学校の数はどんどん増えているね。
- ・新しい校舎には、エレベーターや手すりがついたね。
- ・エアコンが全教室についているね。

租税の役割

- ・市役所で公共施設の計画などが進められているんだね。
- ・市役所があるおかげで、市に必要なものが作られているんだね。

学校の数は最初21校しかなかったのに、今では114校もある。学校の施設もみんなが過ごしやすいように変わってきているんだね。そしてそれを中心となつて進めているのが市役所なんだね。

⑦資料から読み取り、年表にまとめ、交通の移り変わりを分かるようにする。

昔の川崎駅の写真

現在の川崎駅の写真

今と昔の川崎駅周辺の道路の様子

(知一①)

資料から読み取り、年表にまとめ、土地利用の様子移り変わりを理解している。

○学習計画から、本時は、公共施設の移り変わりについて学習することを確認する。

○学校の移り変わりについては、各学校の副読本の活用も考えられる。

○公共施設の移り変わりについて、年表にまとめるようにする。

○市が整備を進めてきたこと（市役所の関わり）を取り上げ、租税の役割に触れる。

(知一①)

資料から読み取り、年表にまとめて公共施設の移り変わりを理解している。

○学習計画から、本時は、交通の移り変わりについて学習することを確認す

- ・ 駅の様子が今と違うね。
- ・ 駅を通る路線は、今と変わっていないね。
- ・ 道路も整備されてきたね。

川崎市の鉄道や道路はどのように変わってきたのだろうか

昭和5年頃の路線図・道路図

昭和40年頃の路線図・道路図

平成30年頃の路線図・道路図

副読本

「かわさき」

p 1 4 2

- ・ 線路も道路も増えていっているね。
- ・ 特に川崎駅周辺には線路や道路が多くなっているね。

**線路や道路も時代が進むにつれて、増えていったり整えられたりしてきているね。交通が発達して様々な場所に行くことができるようになって生活がより便利になってきたんだね。**

⑧川崎市や人々の生活の時間の経過に伴う移り変わりと、交通や土地利用や人口による違いを比較・関連付け、総合などして、市の人々の生活の様子の変化を考え表現するようにする。

副読本「かわさき」p 1 4 1 (人口のうつり変わり)

- ・ 川崎市の人口は増えていっている。
- ・ 今は150万人以上いるんだね。

川崎市の人口はどのように変わっていったのだろうか

今までの学習をまとめた年表

- ・ 道路や鉄道が整備されてきた時期と人口が増えてきた時期がほぼ同じ時期だね。
- ・ 人口が増えてきた時期は、土地利用の様子も変わり、田畑が減り、住宅地が増えてきているよ。

**道路や鉄道が整備された時期と同じ時期に、人口も増えてきているね。そして、土地利用の様子も変わってきているね。**

⑨調べたことを文章にまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い移り変わってきたことが分かるようにする。

る。

○路線図や道路図を3つの時期で比べることで、道路や鉄道が発展していたことが分かるようにする。

○交通の移り変わりについて年表にまとめるようにする。

(知-①)

資料から読み取り、年表にまとめて交通の移り変わりを理解している。

○今まで学習したことと関連があるということに気付かせるために、掲示しておいた年表を確認するように伝える。

(思-②)

川崎市や人々の生活の時間の経過に伴う移り変わりと、交通や土地利用や人口による違いを比較・関連付け、総合などして、市の人々の生活の様子の変化を考え表現している

今までの学習ノート

今までに作成した年表

**(単元を振り返る学習問題)**

私たちの住む川崎市は、どのように変わってきたのだろうか

年表を見て、川崎市の移り変わりを文章で書こう

川崎市ができた頃から、どんどん生活が便利になってきている。それは市役所が市を整備して学校や公共施設を増やしていったり、鉄道が開発されたりして、住みやすい便利なまちになっていったんだ。だから人口は増え続け、今では150万人もが住む市へと発展していったんだ。

⑩これからの市の発展に関心を持ち、川崎市が将来どのようなようになってほしいか、そのためには市民としてどのように行動していけば良いか考えるようにする。

学習の中で作成してきた年表

これからの川崎市はどうなっていくのだろうか

- ・ますます人口が増えていくんじゃないかな。
- ・交通がさらに発展して、住みやすい市になると思う

川崎市の施策

外国人住民数の変化

異文化交流などのイベント

- ・外国の人々との交流もさかんに行おうとしているよ。
- ・川崎市は外国の人がたくさん住んでいる都市なんだね。川崎市は様々な発展をし、人口も増えていった。外国の人もたくさん住んでいて、その人たちにとっても住みやすい町になっている。これからもだれでも住みやすい町になってほしい。わたしは、川崎市民としてだれとでも仲良くできるようにしていきたい。

○今までの学習ノートや、年表を関連させながら、単元の学習問題を解決していけるように伝える。

(知-②)

調べたことを文章にまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。

○川崎市がこれからどのようなことを大切にしていこうとしているかを理解するために、市の施策を提示する。

○ここでは、多文化共生に関わる施策を取り上げるが、学級の実態に応じて取り上げる施策を選択するようにする。

(態-②)

これからの市の発展に関心を持ち、市が将来どのようなようになってほしいか、そのためには市民としてどのように行動していけば良いか考えている。